2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　マーソ株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　5619　　URL　https://www.mrso.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長CEO　　（氏名）　西野　恒五郎

問合せ先責任者　（役職名）　取締役CFO　管理本部長兼経営企画室長　（氏名）　井口聖一朗　　（TEL）03-6435-6692
配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	883	12.5	△27	―	△25	―	△17	―
2025年12月期第３四半期	785	―	△49	―	△47	―	△37	―

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　　△17百万円（　　―%）　2025年12月期第３四半期　　△41百万円（　　―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△5.01	―
2025年12月期第３四半期	△10.60	―

（注）当社は、2025年12月期第１四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年12月期第３四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。また潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの１株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	2,192	1,931	88.1
2025年12月期	2,116	1,948	92.1

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　1,931百万円　　2025年12月期　1,948百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,262	17.1	△1	―	0	―	△0	―	△0.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料P.７「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　有

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（注）詳細は、添付資料P.７「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	3,552,750株	2025年12月期	3,552,750株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	44,272株	2025年12月期	44,272株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	3,508,478株	2025年12月期３Ｑ	3,545,716株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１.当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

「2026年12月期第３四半期決算説明資料」はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（会計方針の変更に関する注記） …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、物価の高止まりや人手不足が続く中にも、企業収益の改善や雇用環境の安定を背景に、個人消費は底堅く推移しました。健康・予防医療への関心は引き続き高まりを見せており、当社が事業を展開する健診予約市場においても、受診需要は堅調に拡大しました。一方、米国の通商政策やイラン・ウクライナ情勢に起因する不透明感は、企業の設備投資マインドや消費者心理に対し一定の下押し圧力となり得る状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは、健康寿命の８年延伸を目指し『＋８Ｙ健康長寿社会の実現』をミッションに掲げております。そしてアナログ業務からデジタル業務へのDXを推進して、個人・法人・行政・医療施設をつなぎ、予防医療のアップデートの実現に向け、事業を展開しております。

当社グループのセグメントは、ヘルステック事業の単一でありますが、サービス提供内容に応じて、「予約」、「広告」、「DX」、「ワクチン」に区分しております。なお、ワクチン売上につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種等に関する各種WEB予約システムの提供を行っておりましたが、国の接種方針の大幅な変更に伴い自治体のワクチン接種体制が終了したことから、サービス提供を実質的に終了したため、当第３四半期連結累計期間における発生はありません。

サービス提供区分別売上	2025年12月期 前第３四半期連結累計期間 （千円）	2026年12月期 当第３四半期連結累計期間 （千円）	前年同期比(%)
予約売上	440,979	510,195	15.7
広告売上	225,925	250,353	10.8
DX売上	117,377	123,244	5.0
ワクチン売上	966	－	－
売上合計	785,249	883,793	12.5

予約売上においては、人間ドック・健診予約サイト「MRSO.jp」を通じて、医療施設の予約数拡大に向けたマーケティング支援を行っております。当第３四半期連結累計期間は、法人予約（企業や健康保険組合が従業員およびその家族に対して実施する健診の予約）が拡大するとともに、個人予約も集客チャネルの多様化対応が進み、順調に推移しました。その結果、予約売上が前年同期比で増加しております。

広告売上においては、「MRSO.jp」トップページに設けた特集ページ等を通じた医療施設の露出量増加や企業との提携を通じた「MRSO.jp」でのプロモーション実施等を行っており、広告サービスの利用数拡大やその利用単価向上に取り組んでまいりました。

DX売上においては、医療施設や市町村を中心とする行政、法人に対して、主に業務効率化に資するWEB予約システムの提供を行っております。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間における当社グループの売上高は883,793千円(前年同期比12.5％増)、営業損失は27,984千円(前年同期は営業損失49,228千円)、経常損失は25,605千円(前年同期は経常損失47,379千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は17,578千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失37,571千円)となりました。損益面では、2026年を「Jカーブ成長への投資期」と位置づけ、同年4月のオフィス拡張移転や営業人員の増強など、人財を中心とした成長投資を計画どおり実行しました。一方、集客チャネルの多様化による広告宣伝費の効率化に加え、AI活用による業務プロセスの合理化と生産性向上が進展したことで、成長投資を抑制することなく、収益構造の改善が進み、営業損失は前年同期比で縮小しました。

なお、当社グループはヘルステック事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（２）財政状態に関する説明

(流動資産)

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は1,852,312千円となり、前連結会計年度末に比べ76,415千円減少しました。これは、現金及び預金が20,031千円減少したこと、売掛金が14,588千円減少したこと、その他流動資産が41,804千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第３四半期連結会計期間末における固定資産は340,002千円となり、前連結会計年度末に比べ152,245千円増加しました。これは、有形固定資産が29,589千円増加、投資その他の資産が123,063千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は260,426千円となり、前連結会計年度末に比べ92,926千円増加しました。これは、契約負債が15,709千円増加、その他流動負債が64,129千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第３四半期連結会計期間末における純資産は1,931,888千円となり、前連結会計年度末に比べ17,096千円減少しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が17,578千円減少したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2026年12月期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年11月13日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」、「2026年12月期 第３四半期決算説明資料」をご覧ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,675,916	1,655,884
売掛金	173,454	158,865
その他	79,487	37,683
貸倒引当金	△130	△121
流動資産合計	1,928,728	1,852,312
固定資産		
有形固定資産	362	29,951
無形固定資産	3,922	3,514
投資その他の資産	183,472	306,536
固定資産合計	187,756	340,002
資産合計	2,116,485	2,192,315
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,026	14,951
未払法人税等	1,778	5,795
契約負債	18,484	34,194
賞与引当金	5,399	13,898
販売促進引当金	2,145	2,791
その他	124,666	188,795
流動負債合計	167,500	260,426
負債合計	167,500	260,426
純資産の部		
株主資本		
資本金	122,351	122,351
資本剰余金	329,541	329,541
利益剰余金	1,550,989	1,533,411
自己株式	△49,177	△49,177
株主資本合計	1,953,705	1,936,126
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,720	△4,238
その他の包括利益累計額合計	△4,720	△4,238
純資産合計	1,948,984	1,931,888
負債純資産合計	2,116,485	2,192,315

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	785,249	883,793
売上原価	182,490	202,675
売上総利益	602,758	681,117
販売費及び一般管理費	651,986	709,102
営業損失（△）	△49,228	△27,984
営業外収益		
受取利息	1,908	2,912
その他	206	254
営業外収益合計	2,115	3,167
営業外費用		
支払利息	19	－
為替差損	246	788
営業外費用合計	266	788
経常損失（△）	△47,379	△25,605
税金等調整前四半期純損失（△）	△47,379	△25,605
法人税等	△9,808	△8,027
四半期純損失（△）	△37,571	△17,578
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△37,571	△17,578

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純損失（△）	△37,571	△17,578
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,884	482
その他の包括利益合計	△3,884	482
四半期包括利益	△41,455	△17,096
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,455	△17,096

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（税金費用の計算方法の変更）

従来、当社の税金費用については、原則的な方法により計算しておりましたが、四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第１四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算方法）

当社の税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用して計算しております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	3,318千円	6,052千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループは、ヘルステック事業の単一セグメントであるため、記載を省略いたしております。